

実務経歴書

【全 枚のうち 枚目】

技術者氏名（生年月日）		〇〇 〇〇		(昭・ <u>平</u> 〇〇年〇〇月〇〇日生)		
最終学歴	学校名	〇〇大学		建設業法施行規則第1条の表中の該当学科名	に関する学科	
	学部・学科	〇〇学部〇〇学科				
	卒業年月	昭・ <u>平</u> ・令 〇〇年 3月卒業		入社年月	昭・ <u>平</u> ・令 〇〇年〇〇月入社	
区 分	建設工事の種類		該当区分		実務経験区分	
	☒ 土木一式工事		☒ 建設業法第7条第2号イ		☒ 3年以上 ☐ 5年以上	
	☐ 建築一式工事		☐ 建設業法第7条第2号ロ		☐ 10年以上	
	☐ その他 ()		☐ 建設業法第 条第 号		☐ ()	
実務経験及びその実務経験の内容 (証明しようとする建設工事の種類に関する工事名、その工事における従事役職等及びその従事期間について記入してください。)						
所属会社名 所在地 所属期間		建設業法第2条における発注者	工事名	従事役職等	従事した期間	月数
(株)〇〇建設 東広島市豊栄町鍛冶屋 1234-56 平成21年4月～ 平成23年3月		東広島市	平成21年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター見習)	平成21年6月～ 平成22年3月	9か月
		〇〇県	平成22年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター見習)	平成22年5月～ 平成22年9月	4か月
		〇〇地方整備局	平成22年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター見習)	平成22年10月～ 平成23年3月	5か月
△△建設(有) 東広島市福富町久芳 2345-67 平成23年4月～ 平成26年3月		東広島市	平成23年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター)	平成23年5月～ 平成23年12月	7か月
		東広島市	平成23年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター)	平成24年1月～ 平成24年9月	8か月
		東広島市	平成24年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・現場代理人 <u>その他</u> (ホ ^レ ター)	平成24年10月～ 平成25年3月	5か月
		東広島市	平成25年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・ <u>現場代理人</u> その他 ()	平成25年6月～ 平成25年12月	6か月
		東広島市	平成25年度〇〇事業 〇〇工事	主任技術者・ <u>現場代理人</u> その他 ()	平成26年1月～ 平成26年3月	2か月
(株)□□建設 東広島市西条栄町 3456-78 平成27年4月～		〇〇県	平成26年度〇〇事業 〇〇工事	<u>主任技術者</u> ・現場代理人 その他 ()	平成26年5月～ 平成26年9月	4か月
		〇〇県	平成26年度〇〇事業 〇〇工事	<u>主任技術者</u> ・現場代理人 その他 ()	平成26年10月～ 平成27年2月	4か月
				合計	4年 6か月	
上記のとおり相違ありません。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 所 在 地 東広島市西条栄町 3456-78 商号又は名称 株式会社 □□建設 代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇						

※この様式は建設工事の種類ごと作成すること。

【注意事項】

1. 実務経験とは、建設工事に関する技術上の経験をいう。したがって、工事現場の単なる雑務や事務の仕事に関する経験は、その対象とならないので注意すること。
2. 従事した期間の月数の計算において、始まりの月は、算入しないこと。
(例：令和2年4月から令和2年12月まで ⇒ 8か月の経験)
3. 従事した期間は、重複しないこと。
4. 合計欄には、従事した期間（月数）の合計を記載すること。なお、必要な実務経験の年数を様式に記載しきれないときは、適宜用紙を追加して必要な実務経験に達するまで記載すること。